

8/17 4000発に輝く夜空「市民納涼花火大会」

▶二人だけのために咲く夜空の大輪



豊臣秀吉の四国侵攻で戦死した人々の霊を慰めるために、盆の送り火として打ち上げられたのが始まりと言われ、400年余りの歴史をもつ伝統の花火大会。「お観音さんの花火」として親しまれています。行く夏を惜しむように今年も多くの観客が訪れ、夜空を彩る豪快で華麗、そしてはかない芸術を堪能しました。

玉津小学校の男女チームが快挙!



◀輝く夏休みの思い出おめでとう!

2012全日本ジュニア綱引選手権大会の320kg以下の部で、強豪チームが居並ぶなか優勝した男子の「玉津Vファイヤーズ Jr」、準優勝の女子「玉津ビクトリーガールズ」の選手・関係者の皆さんが、その報告のため市役所を訪れました。大会前の体重調整等の苦労話や次期大会に向けた抱負、さらに指導いただいた先生方や家族への感謝の気持ちなどを輝く笑顔で話してくれました。

まちのわだい Camera Spot



8/12 次世代育成支援スポーツ事業「空手道教室」



◀張りつめた空気のなか教室開始!



小中学生35人が参加した空手道教室。講師は空手道ナショナルチームの選手として活躍後、京都府空手道連盟選手強化コーチを務める荒賀正孝先生。受講生の返事の声が小さいことを先生に一喝され道場の空気は張りつめたが、突きや蹴りなど実際に体を動かし出すと緊張も解け、組手競技で勝ち進むポイントの取り方などを分かりやすくご指導いただきました。

8/19 2012 夏彩祭 in 壬生川 ~ 残暑を吹き飛ばすみんなのパワー! ~



大曲川岸を照らす約500個のあんどん



◀絵本から飛び出したみたい、にキョートな子どもたち



残暑の続くなか、さらに熱く盛り上がったのが「2012 夏彩祭 in 壬生川」の会場となった新地通り商店街。午前中に始まった各種のイベントもすべて滞りなく実施され、晩夏の太陽が西の空に傾きかけたころに満を持してスタートしたのが、この催しのメインイベントであるダンス夏彩祭コンテスト。それぞれの踊り連が趣向を凝らした衣装とパフォーマンスを競いましたが、晴れの舞台に向けて重ねてきた練習の成果が、圧倒的なパワーとなって見る者に迫ってきます。残照が消え去り辺りが宵闇に包まれると、そうした舞い姿がスポットライトに浮かび上がり、まさに夏に別れを告げる幻想的なセレモニーのようでした。